

やすらぎ青森

公益財団法人 青森県総合健診センター 広報誌



公益財団法人日本対がん協会青森県支部・公益財団法人結核予防会青森県支部

第39号

2018.10 発行

Index

結核は昔の病気じゃないの？	2
センタートピックス	4
9月はがん征圧月間です	6
がん予防運動募金・複十字シール運動募金	
協力者御芳名	8
がん予防運動にご協力ください	10
複十字シール運動にご協力ください	10
青森県よろこびの会	11

結核 は昔の病気じゃないの？

NO!

今でも1日に**50人**の新しい患者が発生し、
5人が命を落としています。



シールぼうや

明治時代から昭和20年代までは「国民病」「亡国病」と恐れられ、50年前までは、死亡原因の第1位でした。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、今でも**1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落としています**。結核は、今でも日本の重大な感染症なのです。

	青森市		全 国	
	平成28年	平成29年	平成28年	平成29年
新たに結核になった人	171人	154人	17,625人	16,789人
罹患率（人口10万対）	13.2	12.0	13.9	13.3

(厚生労働省：平成29年 結核登録者情報調査年報集計結果についてより)

治療できるのに…世界でも問題になっている

日本 (2016年)

結核を発病する人

50人/日

(年間約 18,000 人)

結核で失われる命：

5人/日

(年間約 1,900 人)

世界 (2016年)

結核を発病する人

28,500人/日

(年間約 1,040 万人)

結核で失われる命：

4,600人/日

(年間約 170 万人)

患者の高齢化が進んでおり、新たに結核を発病する方のうち

70歳以上の方が**約6割**を占めています。

結核による死亡の**95%**は、

低所得国と中所得国で発生しています。

若年層の患者では、外国生まれの割合が増加しており、

20歳代では**約6割**を占めています。

25万人の子供たちが、結核で命を落としました。

人口に対して結核を発病する率（罹患率）は、人が多く集まる大都市圏で高くなっています。

アジアとアフリカの開発途上国を中心に、保健医療の整備の遅れや貧困から、多くの人が治療できる病気である結核に苦しみ、命を落としています。

結核を予防 しましょう！

2週間以上咳や痰が続くようなら、医療機関で受診しましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場などへの感染を防ぐためにも重要です。症状がなくても、毎年定期的に健診を受けましょう。

結核予防の大切さを伝えるために

～青森県知事を 表敬訪問・青森市内で街頭 募金活動～



左から鈴木事務局長、種市副会長、三村知事、向井会長、外崎副会長

【県知事表敬訪問】

8月1日から始まる「複十字シール運動」にあわせ、7月31日（火）、青森県結核予防婦人会と当センター代表が三村県知事を表敬訪問しました。

青森県結核予防婦人会の向井会長は、「結核は微減していますが、死亡率は横ばい状態です。ひとりでも多くの発症者を減らすよう、呼びかけていきたいと思います。また、国際的にも深刻な問題であり、予防が必要なことも知っていたいだきたいたいと思います」と話し、複十字シール運動への協力を依頼しました。

【街頭募金】

9月22日（土）、青森市内3か所で、街頭募金活動を実施しました。

募金活動は、結核予防週間（9月24日～30日）にあわせて実施しており、青森県結核予防婦人会の方々と共に、結核や肺がんなどの撲滅を目指し、募金を呼び掛けました。

<募金活動 総額>（3会場合計）

48,887円 のご協力をいただきました。

たくさんのご協力ありがとうございました。



複十字シール 運動期間

8月1日～12月31日

※運動期間外でも受け付けています。



募金をいただいた方にシールを差し上げています。
結核をなくすため、複十字シール募金にご協力をお願いします。

センタートピックス

新役員紹介

2018年6月18日付で、中路 重之氏が第7代目理事長に就任いたしました。
また、2018年5月1日付で、下山 克氏が常務理事・診療所長に就任いたしました。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



中路 重之 理事長



下山 克 常務理事・診療所長



施設見学実施中です

青森県総合健診センター内を見学してみませんか。

青森県総合健診センターと、併設している附属あおもり人間ドックセンターの観察見学を随時受け付けてあります。

健診会場の裏側をご覧になれる見学には、日程調整が必要となりますので、お電話にてご相談ください。

観察見学可能日：月～金曜日（祝日を除く）

見学開始時間：午後

（午前中は実施してありません）

所要時間：90分程度（時間調整可能）

人数：10～30名程度

（人数が多い場合は、複数グループに分けて説明します。）



皆様の質問に、医療技術スタッフがわかりやすく説明します。

健康祭りなどに参加しております（予定含む）

4月22日（日）

十和田市桜まつり ピンクの日（十和田市）

7月1日（日）

第5回あじがさわ元気健康フェスティバル（鰺ヶ沢町）

9月8日（土）～9日（日）

2018 RABまつり（青森市）

9月30日（日）

そとがはま健康まつり2018（外ヶ浜町）

10月27日（土）

平内町健康展（平内町）

11月4日（日）

第26回東通村健康まつり（東通村）

11月17日（土）～18日（日）

町民文化祭いのちのまつり（鶴田町）



県内各地へ出向いてあります。ぜひお声掛けください。

啓発活動などにご利用ください

●展示物貸出【無料】

- ・各がん検診展示用X線フィルム
- ・がん検診パネル
- ・生活習慣病予防パネル 他



がん検診パネル、啓発用パンフレット等揃えてあります！

●啓発用パンフレット・リーフレット提供【無料】

がん関係

- ・がんに負けない社会をつくる
- ・乳がんのセルフチェック

結核関係

- ・結核の常識2018
- ・複十字シール運動リーフレット



●講師（保健師・医師等）の派遣【要相談】

日程等の調整が必要となりますので、まずはご相談ください。

9月はがん征圧月間です

9月1日から9月30日はがん征圧月間です。当センターでは、がん予防に対する意識啓発を目的とし、適切な予防や早期発見、早期治療を呼びかけました。

2018 RABまつりへ出展

平成30年9月8日（土）～9日（日）、青い森公園・観光物産館アスパムにおいて「2018RABまつり」が開催されました。たくさんの人で熱氣あふれる中、無料体験コーナー等を設置し、がん征圧を呼びかけました。



～こんなことをやりました～ <ブース紹介>



血圧測定



視力測定



握力測定



アルコールバッヂテスト



骨密度検査車展示（8日のみ）



マンモグラフィ検診・子宮頸がん検診無料クーポン券応募会場

東奧日報 記事揭載

平成30年9月1日東奥日報朝刊でがんによる死亡数の減少に向けた当センターの取組みを紹介しました。がんの現状や、がん検診の必要性等を盛り込み、がん検診の早期発見・早期治療を訴えました。

The newspaper clipping is from the Aomori Mainichi (青森日報) dated September 1, 2018. The main headline is "脱・短命県" (Shaku-shōmei-ken), which translates to "Cancer Screening to End Short-Life County". Below it is a sub-headline "定期的受診呼び掛け" (Regular screening call). The article discusses the implementation of cancer screening programs in Aomori Prefecture, including mobile clinics and various screening methods. It features a photo of a man in a suit, likely a representative of the screening center.

9月1日（土）東奥日報朝刊で掲載されました

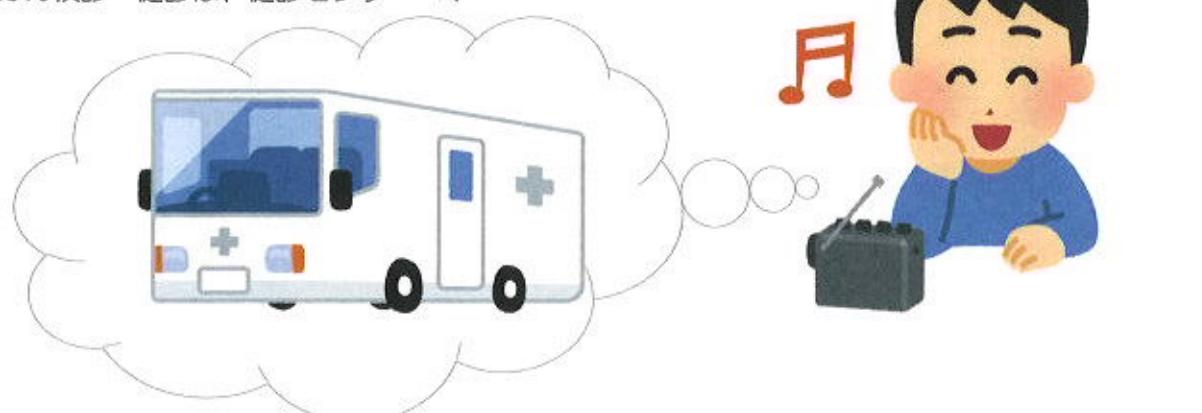
ラジオ・CM 実施

9月中、RABテレビCM、RABラジオCMを実施しました。

「♪ 健康～、ラ・ラ・ラ 健診～♪」

軽快なリズムが聞こえたら、是非検診をお受けください！

がん検診・健診は、健診センターへ！



がん 予防運動にご協力ください

当団体は、

- ・がん予防のための普及啓発活動
- ・がん検診の推進
- ・検診設備の整備
- ・検診における技術の向上
- など、

がん死亡率の低下を目指にがん予防に務めてあります。

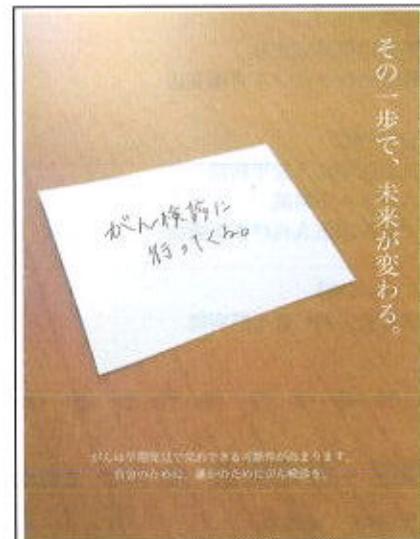
これらの活動を推進するため各方面へ呼びかけ、皆様のご理解をいただきながら、ご支援とご協力ををお願いしております。

平成29年度募金総額 1,951,225円 (青森県分)

■■■ 募金・寄付について ■■■

- ◎個人会員 1□ 1,000円
 - ◎法人会員 1□ 10,000円
- (口数に上限はありません)

※また、金額に関わらず一般寄付としても、お受けいたします。
専用の郵便振替用紙よりお振込みいただくな、当センターへ直接ご持参ください。(振替用紙はご連絡いただければお送りします)



2018年度がん征圧ポスター

複十字 シール運動にご協力ください

複十字シール運動は、結核を中心とした胸の病気をなくして、健康で明るい社会をつくるための運動です。

その実現のために募金活動を行うとともに、病気への理解を広め、予防の大切さを伝えています。募金は、結核の国際協力、結核や肺がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの普及啓発、結核予防団体の活動支援、調査研究に役立てられています。

みなさまの温かいご協力を待ちしております。

■■■ 募金・寄付の目安 ■■■■■

- ◎小型シール 1□ 100円
 - ◎小型シール+封筒組み合わせ
1□ 200円
 - ◎大型シール 1□ 1,000円
- (口数に上限はありません。金額に関わらずお受けいたします)



複十字シール運動イメージキャラクターのシールぼうやとシールちゃんのLINEスタンプ販売中です

専用の銀行振込用紙よりお振込みいただくな、当センターへ直接ご持参ください。
(振込用紙はご連絡いただければお送りします)

青森県よろこびの会 ~がん克服者の会~

第35回全国よろこびの会総会へ参加

平成30年6月21日（木）、第36回全国よろこびの会総会が、山形県天童温泉『天童ホテル』において開催されました。

青森県よろこびの会からは、会員11名、事務局3名が参加し、全国から約110名の方々が集まりました。今年度で全国よろこびの会総会が最後となり、日本対がん協会より長年の功績を労い、各支部会長が全国よろこびの会感謝状表彰が送られ、閉会いたしました。



平成30年度青森県よろこびの会総会・研修会開催

平成30年7月5日（木）～6日（金）、青森県よろこびの会総会・研修会が十和田市「ホテル十和田荘」にて開催されました。総会は滞りなく、すべての議案が承認されました。身近にがんを克服した人がいたら積極的に声をかけ、会員増を目指すこととなりました。

研修会では上北農産加工株式会社、常務取締役 花田一雄様をお招きし、「地域に根ざした物作り」と題してご講演いただきました。



がんの早期発見・早期治療を体験し、がんを克服された方々で構成される「青森県よろこびの会」では随時会員を募集しております。

詳細については、公益財団法人青森県総合健診センターホームページをご覧になるか、お電話にてお問い合わせ下さい。

青森県よろこびの会事務局

公益財団法人青森県総合健診センター内

TEL 017-741-2336(代)(月~金:8:30~17:15)

青森県よろこびの会

検索

がん征圧月間

～9月はがん征圧月間です～

県民の皆様に、がん征圧月間を知っていただきたく、青森県庁に懸垂幕掲示、センター正面へ看板を設置しました。



センター正面玄関へ看板設置
看板設置期間 2018/9/1～10/1

青森県庁へ懸垂幕掲示 懸垂幕設置期間
2018/9/3～9/28



- 公益財団法人青森県総合健診センター TEL 017-741-2336 FAX 017-741-2386
- 附属 あおもり人間ドックセンター TEL 017-765-2570 FAX 017-765-2580
- 附属 あおもり健康管理センター TEL 017-773-6011 FAX 017-723-4097

お電話受付時間 平日 朝8時30分～夕方17時15分まで(3施設共通)

青森県総合健診センター



現在、本誌を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報（お名前、団体名、役職、住所、電話番号など）を保有しております。この情報は、当センターの個人情報保護規定に基づき、その収集・保存・利用については適正な管理の下に運用しております。今後、本誌の送付をご希望されない場合は、渉外広報課までご連絡ください。

青森県総合健診センター 涉外広報課 TEL 017-741-2336